

中学校区におけるめざす子ども像	自己を高めようと努力し、自ら学び続ける子
-----------------	----------------------

令和8年度 重点目標 児童も教職員も、多様性を認め、一人ひとりが尊重される楽しい学校
 1.豊かな心の育成:多様性の尊重・児童理解・仲間づくりにむけて、どの子にも居場所と出番があり、安心安全な学級経営や一人ひとりに寄り添い自尊感情を育む指導に取り組む。
 2.総合的な学力の育成:自ら学びを進める力の育成にむけて、学びのコンパス、堺STEAMブックを活用した授業の研修・実践に取り組む。
 3.健やかな体の育成:体力向上に向けた取り組みを実施する。また、家庭と連携し、睡眠教育を中心に自らの生活を見なおし、規則正しい生活を送ろうという意識を涵養する。
 4.「つながる教育」「ひろがる教育」の推進:保幼小、小中の教育の連続性を大切にし、学校群の枠組みを活用して交流やつながる機会を多く持ち、自他を尊重する心を育む。学校群の教職員が連携し、若松台学校群の児童生徒を育成する。

<p>【確かな学びの現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習面では、授業で学ぶことは楽しいと感じている児童が約95%いる。また、友達と学ぶことは楽しいと感じている児童は約97%いることから、学校で学ぶことに前向きな姿勢がうかがえる。一方で自分のペースで学ぶことができていない児童の割合は約88%とやや低く、児童の個性に着目しながら教育課程を調整しながら学びのコンパスをもとにした授業づくりを推進する必要がある。 ・家庭学習では、家で計画を立てて勉強している児童の割合は約58%であり、スマートフォンやゲームの利用時間や家庭での過ごし方について家庭と連携しながら取組を考える必要がある。 ・各種学力調査の結果から、複数の情報を取捨したり関連付けて考えることに課題がある。また、他者の発言の目的や意図を読み解くこと、資料から情報を抽出して自分の言葉で構成、表現することに課題がある。授業において「なぜ、どうしてを自分の言葉で語る機会を確保すること」に取り組む。 	<p>【豊かな心の現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思いやりをもって人に接していると肯定的に答えた児童は、100%であった。一方で、ものを大切にすることを意識や公共のものと自分のものを区別して利用することなどに課題が見受けられることから多様な他者の視点でもの事をとらえることに取り組む必要がある。 <p>【健やかな体の現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭での過ごし方について、家庭学習、スマートフォン、ゲームの利用と合わせて睡眠の大切さを意識できるよう児童への啓発をおこない生活リズムを自覚し改善できるような取り組みを行う必要がある。
---	--

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組 ★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～10月)	達成状況(年度末)	
								自己評価	学校関係者評価
確かな学び	総合的な学力の向上	自主的な学習習慣の定着	家庭と連携をしながら、計画を立てて勉強する習慣が身につくように宿題を工夫する。	「家で計画を立てて勉強している」児童75%以上(4～6年)	学校教育アンケート	年度末			
		学習指導の改善	●子どもが学ぶことを喜び、子どもが自ら学びを進める力を培うために、学びのコンパスを基にした授業づくりを行う。 必要に応じて正しくパソコンを活用できる習慣作りに向け、児童用端末活用系統表に基づいて、1人1台端末の活用をする。	「学ぶことが楽しい」と答えた児童90%以上(1～6年)	学校教育アンケート	年度末			
	学校群	学力向上	●支援教育の視点を取り入れながら配慮を要する児童を含むすべての児童が自分にあった方法で学べる授業づくりを行う。	「授業では自分のペースで学んでいる」と答えた児童90%	学校教育アンケート	年度末			
豊かな心・健やかな体	豊かな心の育成	相手を思いやる心、簡単にあきらめない強い心の育成	誰もが安心して過ごしやすい集団作りのために、マイノリティの立場に立った実践を行う。	「思いやりをもって人に接している」と答えた児童の割合90%以上	学校教育アンケート	年度末			
			道徳的心情を高め、集団生活等への実践へとつなげ、思いやりの心を育成するため道徳教育を実践する。	参観やオープンスクールでの道徳授業の公開を年1回以上行う。	参観授業の実施	参観時			
			自己と他者への理解を深めるため、啓発授業や支援学級との交流を行う。	自己と他者への理解が深まったと感じたと記述した児童のふりかえり	ふりかえりシート	授業・交流時			
			分からないことにあきらめずに学び続け、協働的な学びを組織することで、間違いやわからなさを大切にす授業づくりを行う。	「やると決めたことは、最後までやりとげようとしていますか」と答えた児童の90%以上	学校教育アンケート	年度末			
			児童の困り感などの早期発見・早期解決をめざすため、生活アンケート(年3回)の実施とその結果の聞き取りや、情報共有を行う。	「学校は安全で安心できる場所である」と答えた児童の割合85%	学校教育アンケート	年度末			
	朝礼などで「はあと」の取り組みを報告、指導したり生活目標に組み込んだりして都度啓発していく。	「『はあと』の取り組みをがんばれている」と答えた児童の割合80%	学校教育アンケート	年度末					
健やかな体の育成	体力の向上と基本的な生活習慣の定着	総合的な体力向上のために、体育の時間の運動量の確保に取り組む。	「体育の時間にたくさん運動している」と答えた児童の割合80%	学校教育アンケート	年度末				
		健康な生活を送るにはどうすればよいかについて学ぶために、発達段階に応じた保健指導を行う。	各学年において3回以上実施	実施報告	年度末				
		●健やかな体と豊かな人間性をもち、睡眠の大切さを意識できるようにする。	「普段睡眠について考えることがある」と答えた児童の割合80%	学校教育アンケート	年度末				
学校独自の取り組み	信頼される学校	学校における安全指導・安全管理の徹底	自他の安全に気を配ることができる資質・能力を育てるために、安全学習を実施する。	学校安全計画に基づき、安全学習に年3回取り組む	児童の様子	年度末			
		家庭、地域に開かれた学校づくりの推進	教育活動の現状と成果を地域や家庭に共有するため、学校HP、校報、学年通信などを活用した発信を行う。	「学校は、学校HP、校報、学年通信等を通じて、子どもたちの様子や連絡事項の発信に努めている。」と答えた家庭の割合90%以上	学校教育アンケート	年度末			
		★児童の交流を意識した教育活動の実践や学校群でカリキュラムマネジメントの充実や働き方改革に取り組む。	実施状況 学校教育アンケート	学校教育アンケート	年度末				

校長より(年度末)	学校関係者評価者から(年度末)
-----------	-----------------